



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月13日

上場会社名 株式会社九州リースサービス 上場取引所 東・福
 コード番号 8596 URL http://www.k-lease.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 礪山 誠二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 板橋 正幸 (TEL) (092) 431-2530
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	11,410	1.3	1,708	2.6	1,749	0.4	1,096	△15.1
2019年3月期第2四半期	11,259	△9.7	1,664	△2.3	1,742	3.0	1,291	△20.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 1,439百万円(113.6%) 2019年3月期第2四半期 674百万円(△67.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	48.52	—
2019年3月期第2四半期	57.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	144,591	29,191	20.1
2019年3月期	140,912	27,900	19.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,039百万円 2019年3月期 27,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
2020年3月期	—	7.00			
2020年3月期(予想)			—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,800	1.4	3,250	△5.0	3,300	△6.5	2,200	△3.3	97.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 —社 (社名) 、 除外 —社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期2Q	25,952,374株	2019年3月期	25,952,374株
2020年3月期2Q	3,313,604株	2019年3月期	3,372,004株
2020年3月期2Q	22,600,533株	2019年3月期2Q	22,523,836株

(注) 自己株式数については、「役員株式給付信託(BBT)」及び「従業員株式給付信託(J-ESOP)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報等)	11
3. 補足情報	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなかで、全体的には緩やかに回復基調が継続しましたが、その一方で米中の貿易摩擦の影響に加え、消費税率引き上げに対する消費者マインドの変化もあり、先行きの不透明感が増す展開となりました。

このような状況下、当社グループでは昨年4月よりスタートした中期経営計画「Evolution for Next～お客様と共に、目指す未来～」に基づき、継続して「企業力強化」と「事業領域の拡大」に努め、良質営業資産の積み上げと、取引顧客数の拡大に取り組んでまいりました。

業績につきましては、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は11,410百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1,708百万円（前年同期比2.6%増）、経常利益は1,749百万円（前年同期比0.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,096百万円（前年同期比15.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①リース・割賦

商業用設備や産業機械などを中心に新規取扱高が好調に推移する中で、提携金融機関とのビジネスマッチング強化等もあり、売上高は8,208百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は669百万円（前年同期比2.1%増）となりました。なお、営業資産残高は68,449百万円（前期末比3.0%増）となりました。

②ファイナンス

利息収入等の減少により売上高は688百万円（前年同期比7.6%減）となりましたが、与信関係費用の減少などにより営業利益は381百万円（前年同期比0.3%増）となりました。なお、営業資産残高は26,503百万円（前期末比2.0%増）となりました。

③不動産

不動産売却収入の減少により売上高は1,880百万円（前年同期比20.4%減）となりましたが、不動産賃貸収益の増加などにより営業利益は771百万円（前年同期比1.9%増）となりました。なお、営業資産残高は33,318百万円（前期末比3.4%増）となりました。

④フィービジネス

取扱商品の変更等により保険代理店収入は減少しましたが、自動車リース関連収入が堅調に推移したことにより、売上高は223百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は92百万円（前年同期比1.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は144,591百万円(前期末比2.6%増)と前連結会計年度末に比べ3,678百万円の増加となりました。これは主にリース債権及びリース投資資産の増加2,177百万円、販売用不動産の増加1,205百万円、営業貸付金の増加561百万円などです。

負債合計は115,399百万円(前期末比2.1%増)と前連結会計年度末に比べ2,387百万円の増加となりました。これは主に営業資産の増加に伴う借入金及び社債の増加1,821百万円、支払手形及び買掛金の増加537百万円などです。

純資産合計は29,191百万円(前期末比4.6%増)と前連結会計年度末に比べ1,290百万円増加となりました。これは主に利益剰余金の増加930百万円、その他有価証券評価差額金の増加330百万円などです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ238百万円増加し4,631百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは1,250百万円の資金流出となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1,666百万円の支出減となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益1,649百万円、減価償却費733百万円などによるものであり、主な減少要因は、リース債権及びリース投資資産の増加2,168百万円、販売用不動産の増加1,205百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フローの状況

投資活動によるキャッシュ・フローは276百万円の資金流入(前第2四半期連結累計期間は52百万円の資金流出)となりました。主な増加要因は、投資有価証券の売却及び償還による収入309百万円などによるものであり、主な減少要因は、無形固定資産の取得による支出29百万円などによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フローの状況

財務活動によるキャッシュ・フローは1,222百万円の資金流入となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1,959百万円の収入減となりました。主な増加要因は、長期・短期借入金の純増減額(収入)2,039百万円などによるものであり、主な減少要因は、リース債務の返済による支出441百万円、社債の償還による支出218百万円、配当金の支払額158百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年5月15日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,392	4,631
受取手形及び売掛金	77	67
割賦債権	14,687	14,747
リース債権及びリース投資資産	44,967	47,144
営業貸付金	25,941	26,503
賃貸料等未収入金	125	131
販売用不動産	6,295	7,501
その他	879	648
貸倒引当金	△314	△317
流動資産合計	97,052	101,057
固定資産		
有形固定資産		
賃貸資産		
賃貸不動産(純額)	25,754	25,648
その他(純額)	6,825	6,576
賃貸資産合計	32,580	32,224
社用資産	4,820	4,622
有形固定資産合計	37,401	36,847
無形固定資産	780	726
投資その他の資産		
投資有価証券	4,812	4,890
その他	865	1,070
投資その他の資産合計	5,677	5,960
固定資産合計	43,860	43,534
資産合計	140,912	144,591

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,374	2,912
短期借入金	33,310	31,733
1年内償還予定の社債	436	436
未払法人税等	558	534
引当金	206	239
その他	4,985	4,698
流動負債合計	41,871	40,553
固定負債		
社債	734	516
長期借入金	58,533	62,150
引当金	20	18
退職給付に係る負債	432	407
資産除去債務	249	250
その他	11,171	11,503
固定負債合計	71,140	74,846
負債合計	113,012	115,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,933	2,933
資本剰余金	835	835
利益剰余金	23,546	24,476
自己株式	△1,043	△1,025
株主資本合計	26,271	27,219
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,495	1,826
繰延ヘッジ損益	△2	△5
その他の包括利益累計額合計	1,492	1,820
非支配株主持分	136	151
純資産合計	27,900	29,191
負債純資産合計	140,912	144,591

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,259	11,410
売上原価	8,385	8,401
売上総利益	2,874	3,009
販売費及び一般管理費	1,210	1,301
営業利益	1,664	1,708
営業外収益		
受取配当金	69	72
投資有価証券売却益	—	30
デリバティブ評価益	51	—
その他	23	13
営業外収益合計	144	115
営業外費用		
支払利息	48	39
持分法による投資損失	4	8
その他	13	25
営業外費用合計	66	74
経常利益	1,742	1,749
特別損失		
固定資産除却損	—	28
投資有価証券評価損	—	71
特別損失合計	—	99
税金等調整前四半期純利益	1,742	1,649
法人税、住民税及び事業税	513	506
法人税等調整額	△69	31
法人税等合計	443	537
四半期純利益	1,299	1,112
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,291	1,096

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益	1,299	1,112
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△627	330
繰延ヘッジ損益	2	△3
その他の包括利益合計	△624	327
四半期包括利益	674	1,439
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	666	1,424
非支配株主に係る四半期包括利益	8	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,742	1,649
減価償却費	558	733
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	87
引当金の増減額(△は減少)	56	30
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	25	△8
受取利息及び受取配当金	△70	△73
資金原価及び支払利息	351	356
為替差損益(△は益)	△11	9
持分法による投資損益(△は益)	4	8
デリバティブ評価損益(△は益)	△51	—
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△30
投資有価証券評価損益(△は益)	—	71
固定資産除却損	—	28
割賦債権の増減額(△は増加)	△909	179
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	△1,141	△2,168
営業貸付金の増減額(△は増加)	△2,425	△646
販売用不動産の増減額(△は増加)	517	△1,205
賃貸資産の取得による支出	△184	△59
破産更生債権等の増減額(△は増加)	△4	13
仕入債務の増減額(△は減少)	△122	537
その他	△530	45
小計	△2,196	△437
利息及び配当金の受取額	70	74
利息の支払額	△352	△357
法人税等の支払額	△437	△529
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,916	△1,250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
社用資産の取得による支出	△28	△4
無形固定資産の取得による支出	△18	△29
投資有価証券の取得による支出	△9	—
投資有価証券の売却及び償還による収入	2	309
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	276

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,000	△1,700
長期借入れによる収入	16,300	16,500
長期借入金の返済による支出	△11,572	△12,760
社債の償還による支出	△338	△218
リース債務の返済による支出	—	△441
配当金の支払額	△212	△158
その他	4	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,181	1,222
現金及び現金同等物に係る換算差額	11	△9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	223	238
現金及び現金同等物の期首残高	4,224	4,392
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,448	4,631

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を除く)に対する業績連動型株式報酬制度「役員株式給付信託(BBT)」及び一定の要件を満たした従業員に当社株式を給付するインセンティブプラン「従業員株式給付信託(J-ESOP)」を導入しております(以下、合わせて「本信託」という。)

本信託が所有する当社株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部において自己株式として表示しており、当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末において350百万円、1,181,700株、当第2四半期連結会計期間末において332百万円、1,123,300株であります。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	7,808	745	2,362	222	11,139	120	11,259	—	11,259
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,808	745	2,362	222	11,139	120	11,259	—	11,259
セグメント利益	655	379	757	93	1,886	30	1,917	△252	1,664

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△252百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	リース・ 割賦	ファイナ ンス	不動産	フィー ビジネス	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,208	688	1,880	223	11,001	408	11,410	—	11,410
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,208	688	1,880	223	11,001	408	11,410	—	11,410
セグメント利益	669	381	771	92	1,914	57	1,972	△263	1,708

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、売電事業、物品販売等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額△263百万円は、全社費用であり報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

営業資産残高(連結)

セグメントの名称	前連結会計年度末 (2019年3月31日)		当第2四半期 連結会計期間末 (2019年9月30日)	
	期末残高(百万円)	構成比(%)	期末残高(百万円)	構成比(%)
リース・割賦				
ファイナンス・リース	44,967	36.1	47,144	36.7
オペレーティング・リース	6,811	5.5	6,556	5.1
リース計	51,778	41.6	53,701	41.8
割賦販売	14,687	11.8	14,747	11.5
リース・割賦計	66,466	53.4	68,449	53.3
ファイナンス	25,988	20.8	26,503	20.7
不動産				
オペレーティング・リース	25,769	20.7	25,667	20.0
その他	6,445	5.1	7,651	6.0
不動産計	32,214	25.8	33,318	26.0
合計	124,669	100.0	128,270	100.0